

# 着ぐるみ（伊勢まいりん）を使用した伊勢市観光事業のPR活動

メンバー数：6名 活動場所：伊勢市  
 実施主体：公益社団法人伊勢市観光協会青年部  
 担当教員：板井 正斉（教育開発センター）  
 Web：http://www.ise-kanko.com/mairinkun/  
 活動年度：H28, H29, H30, R1

- ・税制クイズ大会
- ・企画会議
- ・伊勢楽市
- ・企画会議（グッズ試作）
- ・夜店の打ち合わせ
- ・高柳の夜店
- ・グッズのプレゼンテーション
- ・活動打ち合わせ
- ・企画打ち合わせ
- ・まいりんくん例会
- ・企画会議
- ・CLL活動説明会
- ・外宮ゆかたで千人参り

2019

5 6 7 8 11 2

## 1. 今年度の活動を振り返って（成果と課題）

今年度は昨年度より企画開発に力を入れて取り組みました。成果としてはまいりんくんグッズの完成像を明確に出来たことが挙げられます。また企画だけでなく夜店などのイベント活動にも新しいメンバーが着ぐるみに入り参加するなど昨年度より活発に活動がされていたように感じます。課題としては商品を実際に販売するところまで仕上げることで、イベントにあまり参加できなかったことが挙げられます。次年度は引き続き商品の実現に向けての活動、イベント活動に参加して行って頂きたいです。 国文学科4年 萩原里帆

今年度の活動では、グッズ制作を中心に取り組みました。青年協会の方々を交えたグッズ制作会議では昨今話題になっているハンドメイドに、子供向けの需要とともに大人向けの需要も高まっているガチャガチャを合体させたハンドメイドガチャという提案をし、大量生産が出来ないこと、コスト面での課題などもありましたが一年をかけて無事試作段階まで入ることが出来ました。今後これらの活動を通して伊勢まいりんくんがさらにたくさんの人々に愛されるキャラクターになることを願っています。 国文学科4年 大平朋佳

今年度の伊勢まいりんくんの活動では、まいりんくんのアテンドとしてイベントに参加したり、まいりんくんのグッズの試作や制作に携わったりしました。アテンドでは、まいりんくんをサポートしつつ、イベントにお越しいただいた方にまいりんくんのシールを渡す仕事をしました。初対面の方にシールを渡すことや話すことはとても緊張することでしたが、不特定多数の方と接する貴重な経験となりました。一方で、まいりんくんグッズの試作や制作の面では先輩方に頼りきりだったので、来年度は自身もグッズの案などを出せるようになればよいと思いました。 国文学科2年 松永貴大

## 2. 実施主体者様からの声

観光協会青年部の六月例会として、高柳商店街の夜店でまいりんくんブースを出店しました。（学生はアイデア出しとチラシのデザイン制作に参加）  
 グッズではまいりんくんガチャガチャを企画、観光協会青年部に対して行ったプレゼンテーションでの評価も良く、三月完成予定です。  
 次年度もぜひ共に活動していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

## メンバー

国文学科4年 萩原里帆  
 国文学科4年 大平朋佳  
 国文学科2年 松永貴大  
 国史学科2年 南 慶汰  
 国文学科1年 加藤奨之

## 特にアピールしたいポイント

1. 着ぐるみに入れる  
（アテンドとしてサポートも出来ます）
2. グッズ企画、制作  
（自分のグッズを実現するチャンス！）

